

## WAからのお知らせ



### 〈わ〉会員1,317人に

グループ〈わ〉の会員は、4月7日現在、132人の新しい仲間迎え、登録者は計1,317人になりました。新入会員は、昨年と比べ少なくなってきました。3月25日の運営委員会では、「募集方法の変更などを考えるべきではないか」との意見が出されました。コース別では、福祉295・国際208・生環385・美工36・音文160・園芸58・食文136・一般39人です。卒業後の人生を実り豊かにするために、〈わ〉の仲間に加わって活躍しませんか。年会費は一人1,500円です。

問い合わせは〈わ〉事務局（743-8101）へ。

### 講演「みんなで支える介護保険」

1月15日（ジョイラックデー）、グループ〈わ〉主催による介護講演会が、学習室で開催され、30人が熱心に学習しました。講師は神戸市介護保険事業計画担当係長・武藤剛氏と在宅支援係長・奥谷由貴子氏。介護保険利用の手続きやサービスの種類など制度の説明の後、在宅支援の実状について話がありました。「介護予防の大切さを知った」「介護度やサービスの種類が分かった」と好評でした。

#### ●活動ガイド2014年度版発行

グループ〈わ〉の本部組織や傘下の61サークル、9区会の活動内容を解説。26年度役員名も掲載しています。新会員の勧誘や連絡に利用して下さい。5月初旬に各部会・区会に配布予定。

#### ●フィリピン救援募金約4万6,000円

台風災害のフィリピンに贈ろうと、昨年11月からカレッジ事務局・ボランティアセンター・グループ〈わ〉が共同で実施した救援募金は、45,895円が集まり2月21日神戸市社会福祉協議会へ寄託しました。募金活動は1F事務局前に募金箱を設置、カレッジの関係者に呼びかけていたものです。ご協力ありがとうございました。

●訂正 65号「イベント予定」の中で、グループ〈わ〉の電話番号は743-8101の誤りでした。お詫びして訂正します。

#### ●67号7月号の発行は2014年7月中旬です。

## 体と脳を働かせよう

しんぶんわ

老人介護施設に月数回訪問している。不思議なことに、施設内はスタッフの声だけが響いている。お年寄りの多くは、ロビーでテレビを眺めているのだが…対話もなく笑い声も聞こえてこない。なんとも寂しい光景である。

NHKテレビで、認知症が改善する「ユマニチュード療法」の紹介があった。認知症改善は、何時も「人の尊厳」を大切にすることにより可能だとの理論であった。具体的にはかゆいところに介助することではなく、したいことに努力しているところを補助するということだと思う。老後の不安はみな抱えている。皆「クオリティーオブライフ」を望んでいると思う。病気、認知症に如何に対応していくかを真剣に考え、自分自身が対応していかななくてはと思う。「歩くとき100から9と7を順番に引いて体と脳を働かせろ」とレポートにあった。脳を鍛えるのは無理としても、脳トレくらいは何時でもできる。ニュースや社会の動きに関心を持ち、脳を活性化したい。それが自分の「クオリティーオブライフ」だと思う。（長谷川博 生9・東灘区会）

## 編集後記



★ちびっ子ダンスが跳ね回り、シルバーも負けじと歌声をはりあげる…時ならぬ歓声が飛び交うカレッジの取材は楽しかった、と広報委員。小学校の空校舎に老人ホームを作る動きがあるように、「文化の祭典」も子ども＋高齢者というユニークな企画。大きく育ってほしいものです。（南形徹）

★広報担当になって、1年が経過。誌面作りにも少しは心の余裕が出てきたとはいえ、卒業式・文化の祭典・功労賞決定・入学式と、3月末から4月初めにかけて取材が殺到、どたばたと毎日が大忙し。新理事も動員して、やっと印刷・発送を乗り切りました。（井口久美子）

★18期生の卒業式取材をしながら、自分が巣立った1年前の情景を思い出しました。カレッジも開校から20年。今井学長は、ずっと私たちを導いてこられました。21年目を迎えて、より魅力あるカレッジ・グループ〈わ〉を世間に理解していただくべく、私たちも頑張りたいものです。（北村洋）

〈わ〉のメルアド＝わ本部 group\_wa@wa-net.jp ぎゃらりーわ wa\_gallery@wa-net.jp

